

DS ドライブシャフト

目次

概要	DS- 2
作業上の注意及び準備品	DS- 2
注意	DS- 2
特殊工具	DS- 2
汎用工具	DS- 3
油脂及びその他	DS- 3
ドライブシャフト フロント	DS- 4

@gabednconfused

@gabednconfused

@gabednconfused

@gabednconfused

概要

ここでは、フロントドライブシャフト及び、サービスデータについて記載する。その他の整備要領については、「スカイラインR33型整備要領書 点検・脱着版（A006023）のDS編」を参照のこと。

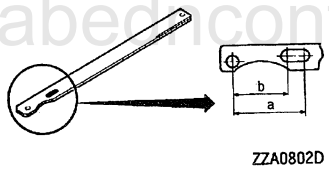
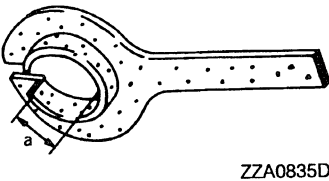
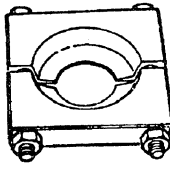
作業上の注意及び準備品

注意

分解時には下記の点に注意すること。

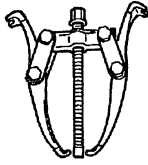
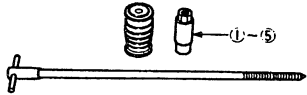
- 防じん設備は必要ないが、できるだけゴミ、ほこりのない場所で作業すること。
- 分解整備を行う前に部品の外側を洗浄すること。
- 分解整備を行う場所を清潔にし、部品を汚したり異物が混入しないようにすること。
- 分解した部品は、確実に順序正しく取り付けること。中断する場合は、清潔なカバーをかけておくこと。
- ウエスはペーパーウエスを使用する。布製のウエスを使用すると、糸クズが付着する可能性があるため使用しないこと。
- 分解した部品（ゴム部品は除く）は白灯油で洗浄し、エアブロー又は、ペーパーウエスを使用し油切りをする。

特殊工具

名 称	用 途	備 考
ハブロックナットレンチ KV401 04000 a:85mm b:66mm	 ZZA0802D	ハブロックナット脱着
プロテクター KV381 07800 a: φ29mm	 ZZA0835D	ドライブシャフト取り付け
ベアリングリプラー ST3002 1000	 ZZA0700D	ダストシールド取り外し

作業上の注意及び準備品

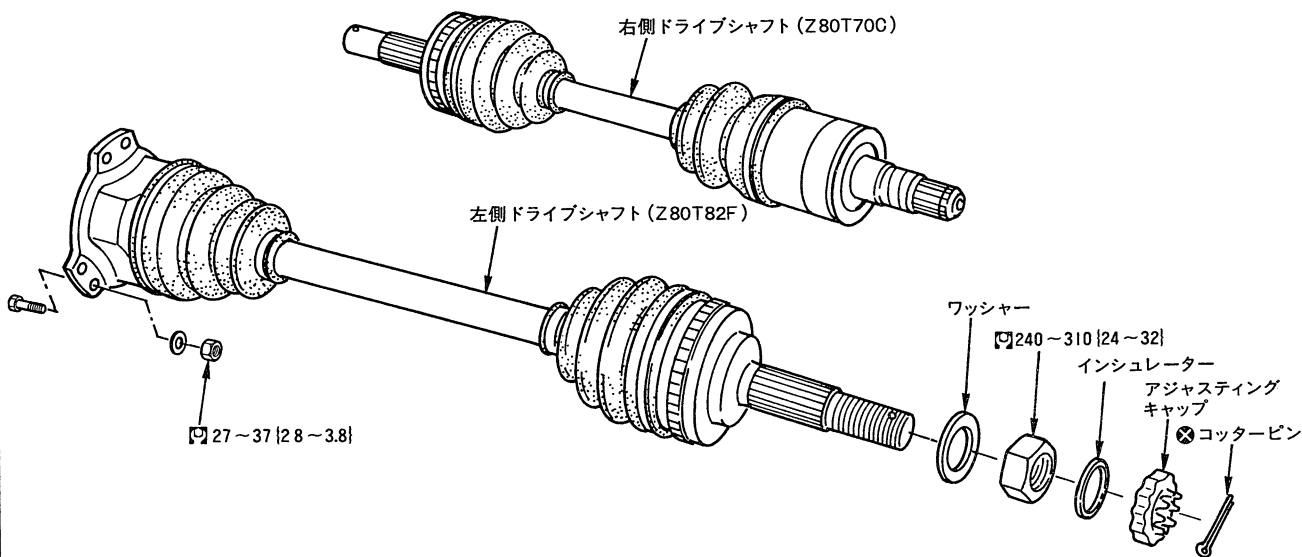
汎用工具

名 称	用 途	備 考
プーラー HT7235  ZZB0807D	ドライブシャフト分解	
ドライブシャフト ジョイントプーラー HT7275 アタッチメント HT7275 1000 ①M20×1.0 ②M20×1.5 ③M22×1.0 ④M22×1.5 ⑤M24×1.5  ZZB0811D	ドライブシャフトホイール側 ジョイント取り外し 参考：ドライブシャフトジ ョイントプーラーの スライディングハン マー部は、既設のス ライドハンマーギヤ プーラー(HT7240)が 使用できる。	既 設

油脂及びその他

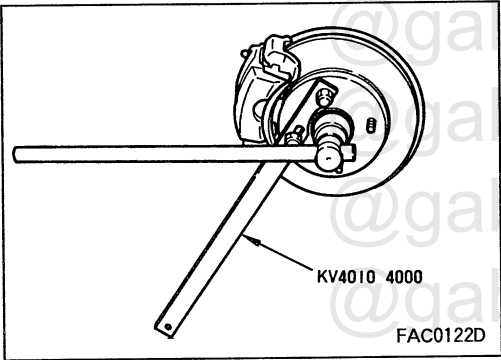
名 称	用 途
ニッサンMPスペシャルグリースNo.2	キングピンキャップ、ホイールベアリング、 ホイールベアリンググリースシールリップ部に塗布

SEC.396



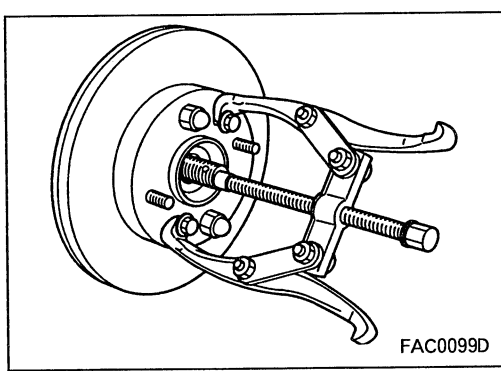
☐ : N·m {kg·m}
 ⊗ : 再使用不可部品

FAC0463D

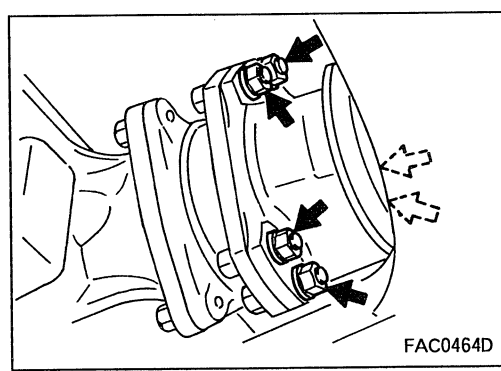


取り外し
 左側

1. コッターピン、アジャスティングキャップ及び、インシュレーターを取り外す。
2. ハブロックナットレンチ（特殊工具）を用いて、ロックナットをワッシャーと共に取り外す。



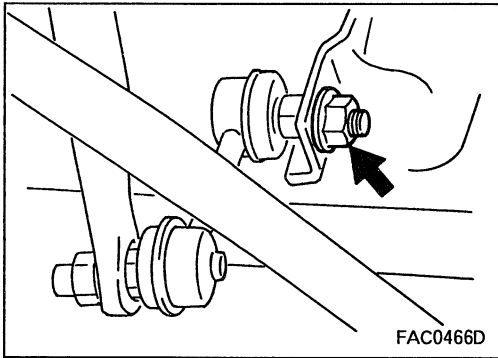
3. ディスクローターをホイールナットで固定し、ボルト（M10×1.25）2本で左図のようにプーラー（汎用工具）を用いて、ドライブシャフトとステアリングナックルを分離する。



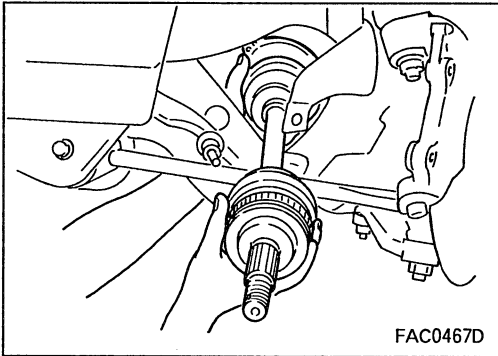
4. ドライブシャフトとサイドフランジの取付ボルト（6本）及びナット（6個）を取り外す。
 フロントサスペンションメンバーからエキゾーストインシュレーターを取り外す。（「フロントサスペンションASSY構成図」参照）
 ドライブシャフトの車両内側ハウジング部をサイドフランジの車両後側へ外しておく。

取り外し (続き)

5. スタビライザーコネクティングロッド上側取付ナット (1個) を取り外す。

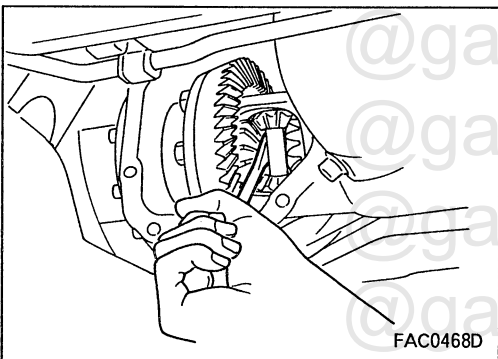


6. 左図のように、ステアリングナックルの車両前側よりドライブシャフトを取り外す。



右側

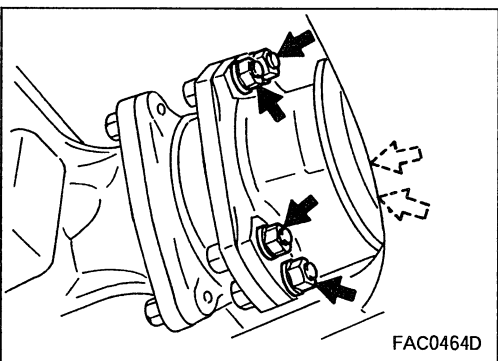
1. 右側フロントアクスルASSYを取り外す。
(「FA編フロントアクスルASSY」の項参照)
2. フロントファイナルドライブのオイルを抜き、キャリアカバーを取り外す。
3. ホイールレンチ等を用いて、ドライブシャフトのファイナルドライブ側先端を押し出してサークリップのかん合部を外し、ドライブシャフトを車両より取り外す。



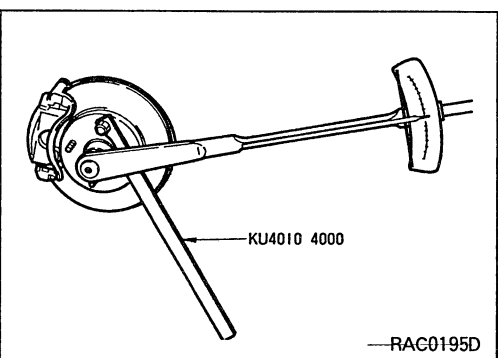
取り付け

左側

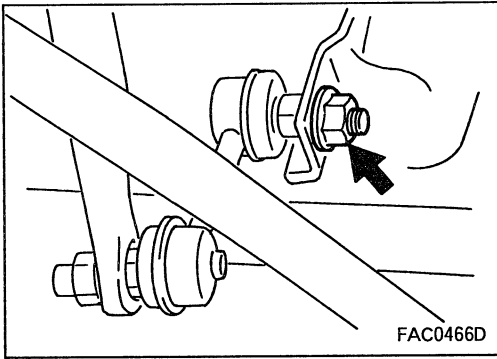
1. ドライブシャフトをステアリングナックルに挿入し、ワッシャーを取り付けロックナットを仮締めしておく。
2. ドライブシャフトとサイドフランジの取付ボルト (6本) 及びナット (6個) を取り付け、規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 27 ~ 37 {2.8 ~ 3.8}



3. ハブロックナットレンチ (特殊工具) を用いて、ロックナットを規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 240 ~ 310 {24 ~ 32}



取り付け (続き)

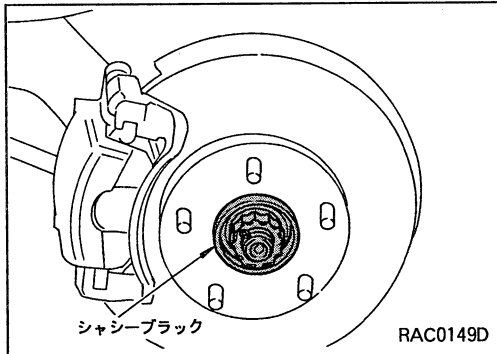


4. スタビライザーコネクティングロッド上側取付ナット (1個) を取り付け、規定トルクで締め付ける。

締め付トルク (N-m [kg-m]) : 41 ~ 47 {4.2 ~ 4.8}

注意 : 取付ナットは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。

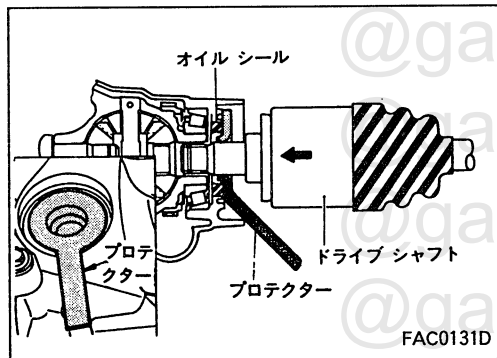
5. フロントサスペンションメンバーにエキゾーストインシュレーターを取り付ける。(「フロントサスペンションASSY構成図」参照)



6. インシュレーター及びアジャスティングキャップを取り付け、コッターピンをアジャスティングキャップにガタが生じないように取り付ける。

注意 : コッターピンは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。

7. 左図の位置にシャシーブラックを塗布する。



右側

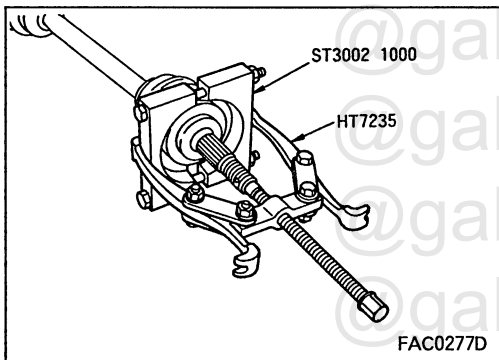
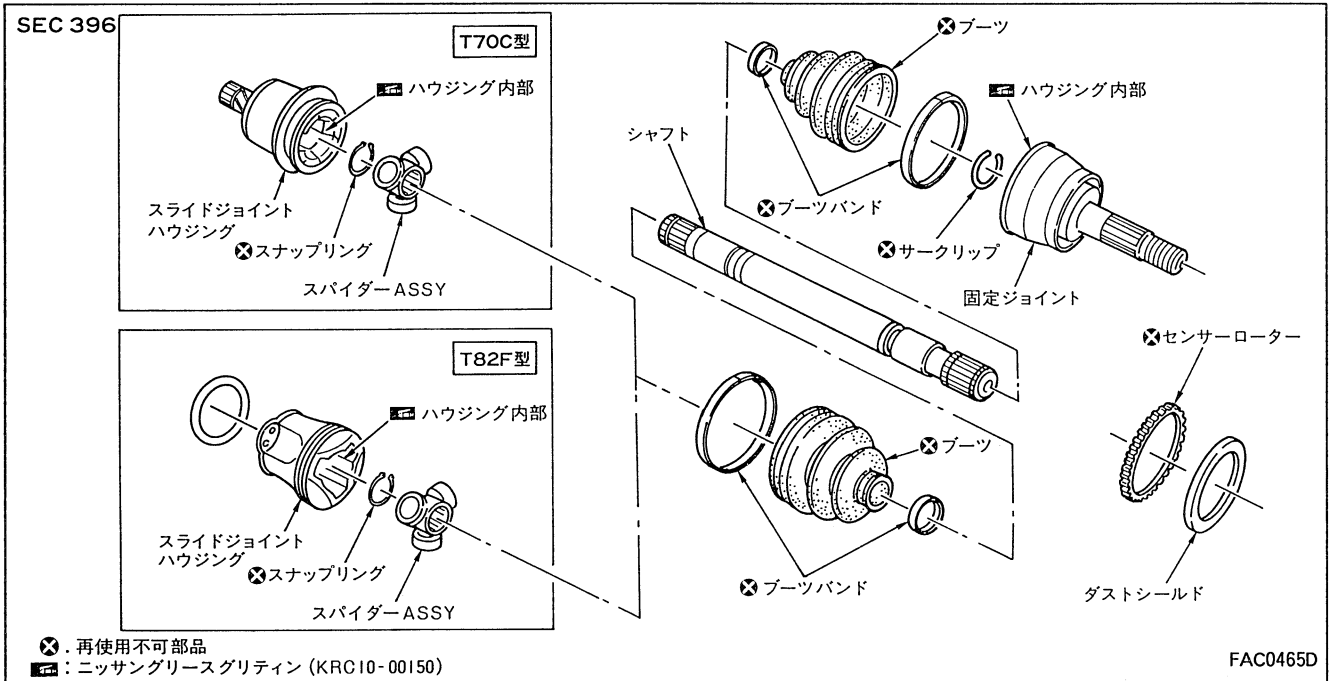
1. ファイナルドライブのオイルシール損傷防止のため、オイルシール部にプロテクター (特殊工具 : KV381 07800) を取り付けてからドライブシャフトをフロントファイナルドライブに挿入し、ドライブシャフトのスライドジョイントをスライドさせ、ハンマリングの要領で確実に取り付ける。

注意 : サークリップが確実に結合したことを確認する。

2. 右側フロントアクスルASSYを取り付ける。
(「FA編フロントアクスルASSY」の項参照)

3. フロントファイナルドライブのキャリアカバーを取り付け、オイルを規定量注入する。

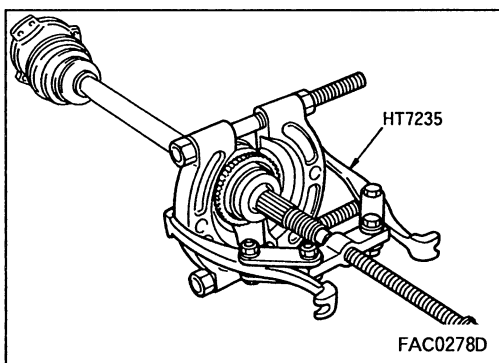
(「ギヤキャリアF160型整備要領書 (A261D05)」及び、「MA編交換部品整備要領ディファレンシャルギヤオイル」の項参照)



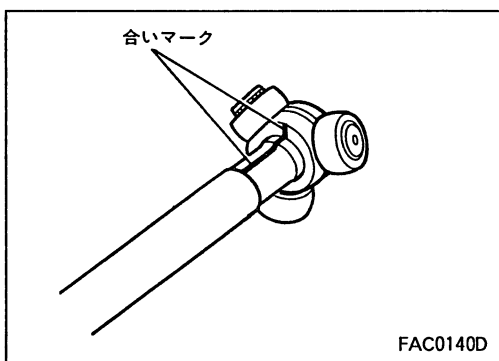
分解

センサーローター

1. ベアリングリプラー（特殊工具）及びプラー（汎用工具）を用いて、ダストシールドをドライブシャフトより取り外す。

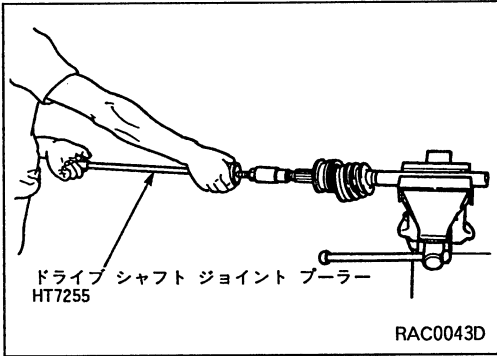


2. 左図のように、ベアリングリプラー（特殊工具）及びプラー（汎用工具）を用いて、センサーローターをドライブシャフトより取り外す。



ファイナルドライブ側

1. ブーツバンドを取り外す。
2. シャフトとスパイダーASSYに合いマークを付ける。
注意： 合いマークはペイント等を使用し、傷は付けない。
3. スナップリングを取り外し、スパイダーASSYをシャフトから抜き取る。
注意： スパイダーは手で抜けるが硬い場合は黄銅棒等で、ローラー部をたたかないように軽打する。
4. ブーツをシャフトより取り外す。



分解 (続き)

ホイール側

- ジョイントASSYの構成部品に異常がある場合、ジョイントASSYで交換する。
 - ジョイントASSYの抜き取り作業を5回以上行って外れない場合は、ドライブシャフトASSYで交換する。
 - 万力で固定する場合は、銅板、アルミ版等を介して固定する。
1. ドライブシャフトを万力で固定する。
 2. ブーツバンドを外し、ブーツをハウジングより取り外す。
 3. ドライブシャフトジョイントプーラー (汎用工具) をハウジングのネジ部に30mm以上ねじ込み、ジョイントASSYをシャフトより抜き取る。
 4. サークリップ及びスナップリングをシャフトより取り外す。
 5. 古いグリースを除去する。

点検

シャフト

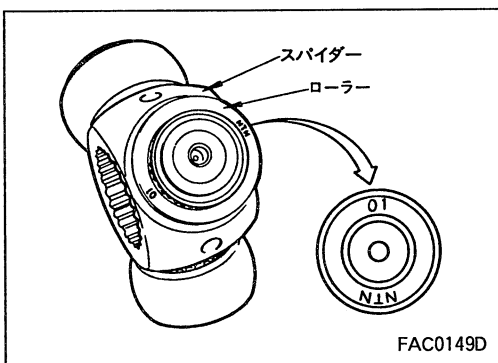
- シャフト部に振れ、亀裂及び損傷があればシャフトを交換する。

ブーツ及びブーツバンド

- ブーツに亀裂があれば交換する。
- ブーツバンドは、一度外したら新品と交換する。

ジョイントASSY (ファイナルドライブ側)

- ハウジングのローラー接触面の傷、摩耗がある場合、スパイダーのローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダーASSYを交換する。
- スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合は、スパイダーASSYを交換する。
- スパイダーASSYの交換は、左図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択、組み付ける。
- ジョイントASSYの構成部品に異常がある場合、ジョイントASSYで交換する。
- ハウジング交換等は、セット部品としてスパイダーASSYも含まれる。



刻印番号	部品番号	型式
00	39720 51E00	T70C
01	39720 51E01	
02	39720 51E02	
03	39720 51E03	
10	39720 10V10	T82F
11	39720 10V11	
12	39720 10V12	

点検 (続き)

ジョイントASSY (ホイール側)

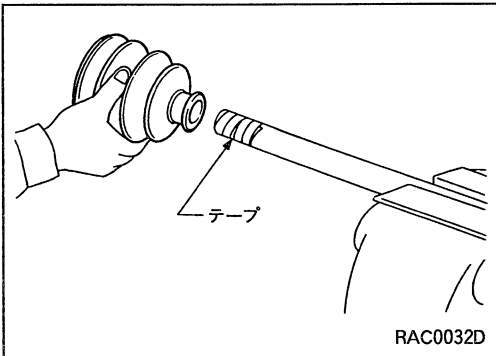
- ジョイントの回転具合、軸方向の異常なガタがないか。
- ジョイント内部の異物混入。

注意 : ジョイントASSYの構成部品に異常がある場合、ジョイントASSYで交換する。

組み立て

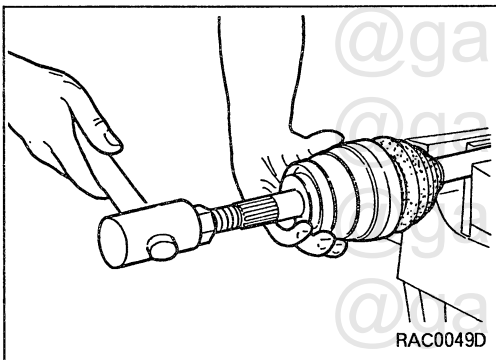
ホイール側

1. 新品のブーツバンドとブーツをシャフトに取り付ける。ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないように取り付ける。



RAC0032D

2. シャフト溝部にスナップリング及びサークリップを確実に取り付ける。ジョイントASSYにナットを付け、木ハンマーでシャフトに圧入する。



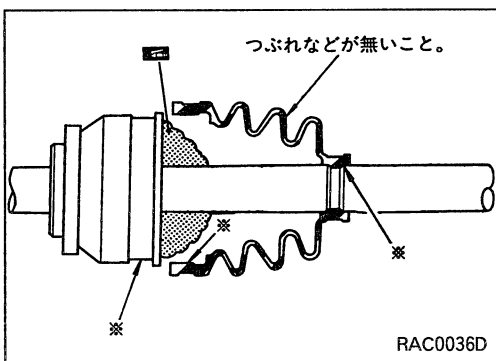
RAC0049D

3. ブーツの大径側からハウジングに残りのリペアキットグリースを充てんする。

グリース量 (g) : 約95±5

4. ブーツを左図の溝部に (※印部) へ確実に取り付ける。

注意 : ジョイントのブーツ取付面 (※印部) に付着したグリースは、除去する。ブーツ取付面にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがある。

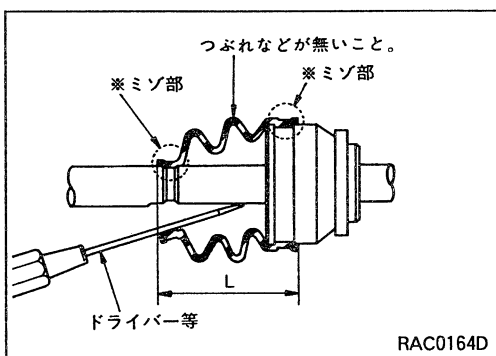


RAC0036D

5. ブーツの長さ (L) が下記寸法するとき、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内外の圧力を調整し、ブーツの変形を防止する。

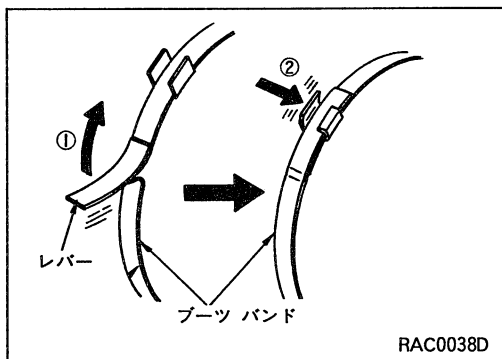
ブーツ取付長さ (mm) : 91.5±1

注意 : • ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
• ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意する。

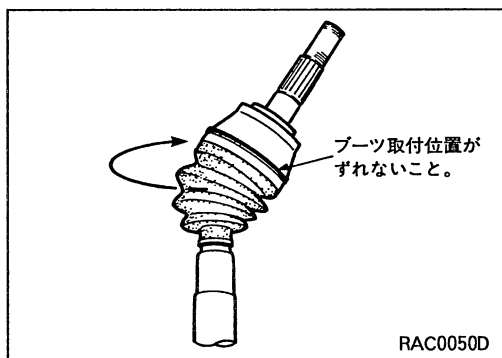


RAC0164D

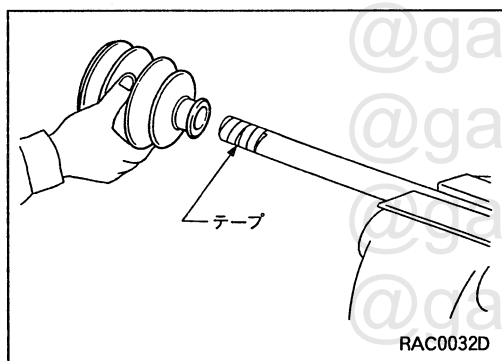
組み立て (続き)



6. ブーツの大径側及び小径側を左図のように新品のブーツバンドで固定する。

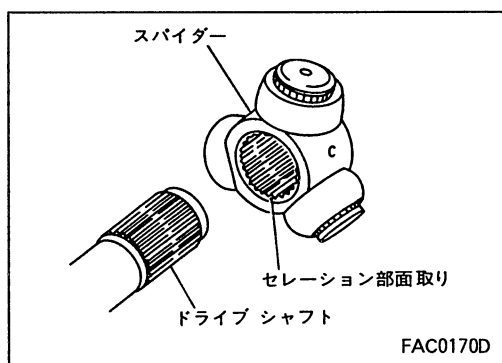


7. ブーツの取付状態を確認する。左図のようにジョイントを回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再組み付けする。

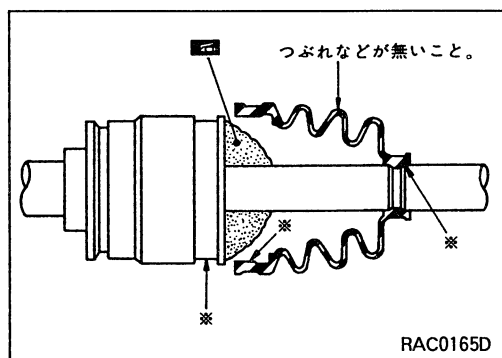


ファイナルドライブ側

1. 新品のブーツバンドとブーツをシャフトに取り付ける。ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないように取り付ける。スライドジョイントハウジングをシャフトに挿入する。



2. スパイダーASSYを取り外し時につけた合いマークに合わせ、セレーション部の面取りがホイール側になるように取り付ける。スパイダーASSYをスナップリングで固定する。リペアキットのグリースをスパイダー及びしゅう動部に塗布する。



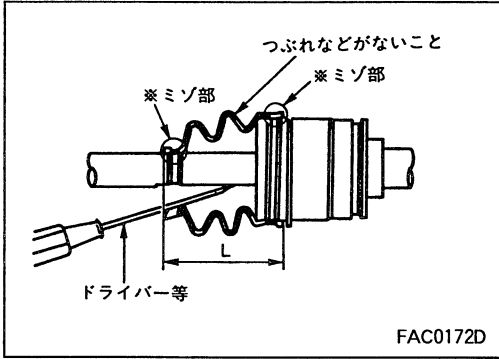
3. スライドジョイントハウジングをスパイダーASSYに組み付け、残りのグリースを下記容量まで充てんする。

型 式	グリース量(g)
Z80T70C	115±5
Z80T82F	155±5

4. ブーツを左図の溝部(※部)へ確実に取り付ける。

注意 : ジョイントの溝部(※部)に付着したグリースは除去する。ブーツ取付面にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがある。

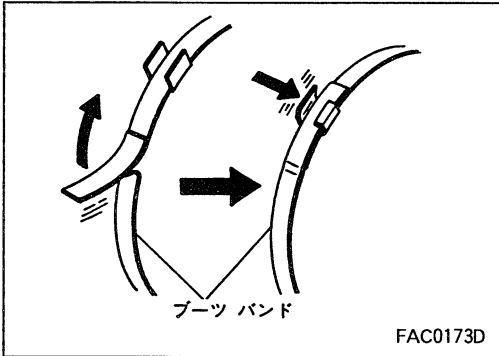
組み立て (続き)



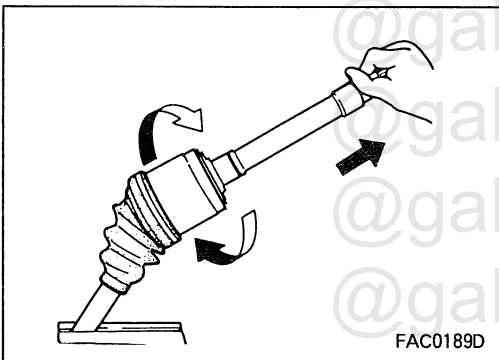
5. ブーツの長さ (L) が下記寸法するとき、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内外の圧力を調整し、ブーツの変形を防止する。

型 式	ブーツ取付長(mm)
Z80T70C	96.5±1
Z80T82F	96.0±1

注意 : • ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
• ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意する。



6. ブーツの大径側及び小径側を左図のように新品のブーツバンドで固定する。

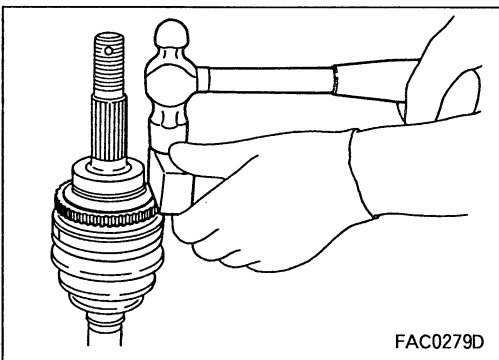


7. ジョイントハウジングを上に取り上げるようにして回転させ、ブーツの取付状態を確認する。

8. 回転させた時ブーツにずれが発生した場合、ブーツバンドを再組み付ける。

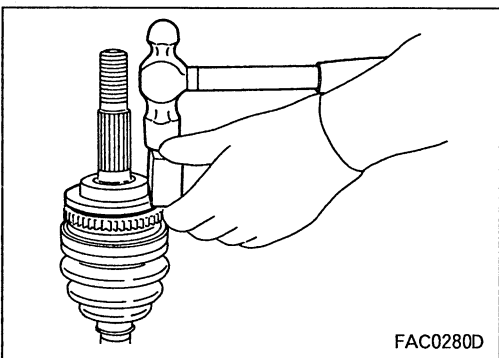
注意 : ブーツバンドは再使用不可部品であり、分解時は必ず新品と交換する。

センサーローター



1. 左図のように、センサーローターに木片等をあてがいハンマーを用いて固定ジョイント端面に当たるまでセンサーローター全周を均一に打ち込む。

注意 : センサーローターは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。



2. 左図のように、ダストシールドに木片等をあてがいハンマーを用いてドライブシャフトにダストシールドを取り付ける。

MEMO

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused